

日時：令和6年11月15日（金） 10：00～12：00

会場：浦和別所小学校 西校舎3階 多目的室

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 校長あいさつ

4 学校運営協議会

(1) 令和6年度学校配当予算執行状況

- ・学校配当予算の項目、執行状況、執行率等を説明。
- ・修繕に関しては、教育委員会と連携して対応している部分もある。

(2) 令和6年度修繕状況

- | | |
|------------|------------------|
| ①グラウンドU字溝 | 修繕済 |
| ②給食室通用門 | 修繕済 |
| ③正面道路側溝 | 11月16日（土）に本格的に修繕 |
| ④給食室前外灯 | 修繕済 |
| ⑤体育倉庫シャッター | 修繕済 |

(3) 児童体力の現状について

- ・男女間で全国平均との比較に差がある。

(4) 学校徴収金の徴収方法変更について

- ・令和7年度1学期の集金から、口座振込に変更

(5) 令和6年度すくさぼ浦和別所協働活動状況

- ・各種取組における意見を反映するボトムアップ型が本校のコミュニティ・スクールの特色。
- ・学校・家庭・地域それぞれの課題を共有し、ボトムアップ型の特徴的な5つの取組を実施。
- ・地域学校協働活動本部である「すくさぼ浦和別所」に運営委員会を設置。7名の運営委員が登録し、自主的な運営を推進。
- ・地域連携授業では、全学年において地域人材、地域資源が関わる授業を展開。11月現在で、662名のボランティアが授業に協力。
- ・昨年度から実施している新1年生対象の登校支援ボランティア「モーニング・サポーター」が、今年度は11月から別学年で支援を開始。

(6) 熟議

テーマ：「登下校や公共におけるマナーの定着のための取組」

【3グループに分かれての協議】

グループA

- ・学校の課題をオープンにして、「モーニング・サポーター」を導入したことは良いこと。
- ・小学校で公共ルール習得ができるような取組を推進したい。
- ・「モーニング・サポーター」の活動は、地域や保護者からの違った視点での見守りが可能なので、これからも学校との連携を継続したい。

グループ B

- ・公共ルールの定着には、保護者の協力も不可欠。
- ・親も子も地域における人間関係の構築が必要
- ・交通ルール等に関しても、大人の影響が子どもにあると考えられる。大人への啓発が必要。
- ・近隣校ではPTAや民生委員等多くの地域の方が参加して、「あいさつ運動」を実施し、子どもたちと顔を合わせることで、信頼関係を築いている。
- ・児童数が多いことも学校課題の要因であるので、早急な学区編成をして欲しい。

グループ C

- ・親の目から離れる機会が多くなりマナーが悪くなっている。
- ・ふざける児童に影響を受ける児童が多い。
- ・学校としても、学習面より生活面の指導に時間がかかっているように感じている。
- ・入学前に、公共のルールを定着させることが必要。
- ・高学年の先輩から生活面でのルールを教えてもらう機会をつくるのはどうか。
- ・子どもが自分で考えて小さな目標を立てて、達成感を得る、普段の子どもの様子を保護者に知ってもらう（参観してもらう）、教員だけではなく、地域や保護者等多くの大人の目で見守る…等の取組をしてはどうか。

まとめ

それぞれのグループの発表から、

- ①「モーニング・サポーター」による、登校支援活動の継続。
- ②子どもたちの「あいさつ運動」への保護者や地域の方の参加。
- ③保護者や地域の大人が参加できる、公共マナーに関する講座や研修会の実施。
- ④子どもたちが自分で目標を立てて、学校生活におけるルールの定着を図るための取組を実施。

5 事務連絡

- ・第3回学校運営協議会 令和7年2月7日（金）
- ・令和7年度教育課程の見直し。土曜日登校に変更あり。

6 閉会のことば

7 授業参観